

第191回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成24年2月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,627	-0.48	-0.10	4,092	0.91	-0.02
東部地区	14,354	-0.12	-0.18	5,712	-0.08	-0.03
西部地区	10,588	-0.72	-0.03	4,001	-0.29	0.10
駅南地区	6,260	-0.17	-0.28	2,685	0.82	-0.48
半田地区	3,620	-0.08	0.27	1,375	1.02	0.73
横山地区	5,666	0.08	0.05	1,899	1.33	0.05
茨目・田尻地区	6,995	0.12	0.05	2,384	1.31	0.25
荒浜地区	5,023	-0.73	-0.21	2,007	-0.14	-0.14
その他地区	20,191	-1.56	-0.17	7,167	0.05	0.00
西山町地区	6,222	-0.28	-0.01	2,149	1.22	0.04
高柳町地区	1,807	-3.83	-0.33	820	-2.26	0.12
柏崎市計	90,353	-0.64	-0.10	34,291	0.35	0.01
刈羽村	4,857	-0.59	0.26	1,566	0.38	0.00
小国地区（長岡市）	6,124	-1.95	-0.06	2,111	-0.33	0.04
出雲崎町	5,042	-1.36	-0.25	1,802	-0.22	-0.22
合計	106,376	-0.75	-0.09	39,770	0.29	0.00

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で591人、0.64％、刈羽村で29人、0.59％、小国地区（長岡市）で122人、1.95％、出雲崎町で70人、1.36％とそれぞれ減少し、全体では812人、0.75％の減少となっている。また、前月比においては、刈羽村で13人、0.26％増加したものの、柏崎市で94人、0.10％、小国地区で4人、0.06％、出雲崎町で13人、0.25％減少したため、全体では98人、0.09％減少している。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で7世帯、0.33％、出雲崎町で4世帯、0.22％減少したが、柏崎市で120世帯、0.35％、刈羽村で6世帯、0.38％増加したことから、全体では115世帯、0.29％の増加となった。また、前月比においては、出雲崎町で4世帯、0.22％減少したが、柏崎市で4世帯、0.01％、小国地区で1世帯、0.04％増加した結果、全体では1世帯、0.00％増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,536		31.84		11.87	
月間有効求職者	2,031		-4.82		3.78	
月間有効求人倍率	0.76	0.82	0.21*	0.15*	0.06*	0.04*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,536人と前年同月比で371人、31.84％の増加となり、前月比でも163人、11.87％増加している。

月間有効求職者数は、2,031人と前年同月比で103人、4.82％減少し、前月比では74人、3.78％増加している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.76倍と前年同月比で0.21ポイント上回り、前月比では0.06ポイント上回っている。なお、県平均0.82倍と比べると0.06ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が704人と前年同月比で196人、38.58％の増加、月間新規求職者数が603人と前年同月比で75人、11.07％減少した結果、月間新規求人倍率は1.17倍となり、前年同月の0.75倍に比べて0.42ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成23年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	19	7	-7	332	104
共 同 住 宅	1	1	-2	33	28
事 務 所	1	0	1	5	0
作 業 所・工 場	0	0	-1	15	5
営 業 建 物	0	0	0	18	6
公 共 建 物	0	0	0	1	0
そ の 他	4	4	3	72	1
合 計	25	12	-6	476	144

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況については、平成23年3月までは市受付分のみの集計でしたが、平成23年4月からは民間確認検査機関の受付件数を含む集計を掲載しております。なお、対前年同月比は平成24年3月分までは市受付分との対比となっております。当月の申請合計は25件と前年同月比で12件増加したが、前月比では6件の減少となっている。なお、工種全体の申請内容は、新築が22件となっており、また一般住宅（併用）19件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が7件（うち新築6件）、市外施工業者が12件（うち新築12件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,522	0.57	-0.11	28,845	5.35	-3.12
電 力	10,627	-2.63	-0.22	43,344	1.26	7.51

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で377口、0.57%増加したが、前月比では、77口、0.11%減少している。一方、電力においては、前年同月比で288口、2.63%減少し、前月比でも24口、0.22%減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で1,465kwh、5.35%増加したが、前月比では、929kwh、3.12%減少している。一方、電力においては、前年同月比で542kwh、1.26%増加、前月比では、3,028kwh、7.51%の増加となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,802,426	-1.13	-0.48	670,245	0.26	-2.74
営 業 用	349,967	15.94	0.52	106,659	-5.01	-0.62
工 場 用	897,772	16.20	2.20	138,608	16.64	7.34
官 公 学 校 用	788,186	5.66	4.10	78,280	5.39	3.18
そ の 他				22	-74.41	-78.00
合 計	3,838,351	5.34	1.14	993,814	2.04	-0.77

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で194,884m³、5.34%増加し、前月比でも43,416m³、1.14%増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比、前月比とも、家庭用を除くすべての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で19,892m³、2.04%の増加となったが、前月比では7,771m³、0.77%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比で、家庭用、工場用、官公学校用で増加しているが前月比では家庭用、営業用、その他で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	71,873	1.32	-7.38	73,891	0.35	-4.29
西 山	31,568	0.59	-6.70	28,116	0.99	-6.63
米 山	11,919	-10.90	-13.47	12,082	-7.11	-5.94
合 計	115,360	-0.28	-7.87	114,089	-0.33	-5.05

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で331台、0.28%減少しており、前月比でも9,858台、7.87%減少している。

一方、出口においては、全体では前年同月比で388台、0.33%減少し、前月比で6,078台、5.05%の減少となっている。

インター別で見ると、前年同月比で、入口・出口とも柏崎と西山インターで増加しているものの、前月比では、入口・出口ともにすべてのインターで減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	356,403	-0.32	0.87	148,274	0.94	-0.13
平 残	356,076	-0.28	-0.16	147,727	0.33	-0.22

預金は、末残が前年同月比で1,174百万円、0.32%減少したが、前月比では、3,075百万円、0.87%増加している。また、平残においては、前年同月比で1,021百万円、0.28%減少し、前月比でも584百万円、0.16%減少している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で1,383百万円、0.94%の増加となったが、前月比では200百万円、0.13%減少している。平残においては、前年同月比で496百万円、0.33%増加したが、前月比では、340百万円、0.22%の減少となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	27,106	-1.54	-11.62
交 換 金 額	21,130	2.96	-21.29
不 渡 り 手 形 枚 数	44	2,100.00	-35.29
不 渡 り 手 形 金 額	68	16,733.00	-52.30

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で424枚、1.54%減少し、前月比では3,567枚、11.62%減少している。また、交換金額においては前年同月比で609百万円、2.96%増加しており、前月比では5,716百万円、21.29%の減少となっている。なお、不渡手形は44枚、68百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産10件（前年同月8件、前月8件）、負債総額113億円（同35億円、同96億円）となっている。地区別では、新潟市が3件、新発田市が1件、佐渡市が1件、胎内市が1件、三条市が2件、長岡市が1件、柏崎市が1件発生している。業種別は、製造業が3件、建設業3件、卸売業1件、小売業1件、サービス業1件、運輸・通信が1件となっており、倒産原因は、販売不振が7件、放漫経営が2件、経営多角化の失敗が1件となっている。

当月の企業倒産は、前年同月比では、件数で2件の増加となり、負債総額は78億円の増加となっている。前月比では件数は2件増加し、負債総額は17億円増加している。なお、負債総額10億円以上の大型倒産が1件発生しており、負債総額は、2008年1月以来、約4年ぶりに100億円を超えている。

県内経済は、緩やかな改善傾向となっているものの、改善要因の多くは災害復興需要などが占めていると思われ、本格的な景気回復への見通しは不透明な状態が続いている。不安定な経済情勢の中、依然として厳しい状況にある。